



ヨコハマ・SDGs クロスアート・プロジェクト

事業目的

「SDGsという言葉聞いたことがあるか」という質問に対して・・・「ある」19%（朝日新聞社調べ 2019/3/13）に調査）

世界 20 カ国・地域における SDGs の平均認知率は 51.6%で、とりわけ ASEAN における認知率が高く、ベトナムでは 80.7%、フィリピンでは 70.3%であり、最も低いフランスでも 24.7%。日本の大手企業には浸透してきてはいるが、中小企業や販売程のレベルになるとほとんど認知されていないに等しい。2020 年、オリンピック開催国である日本の認知度はあまりに低い。SDGs の施策も大切ですが、まずは啓蒙と認知が最前提であると考えます。

そこで、アートを通じた SDGs の啓蒙を提案します。

近年、地域の芸術祭などツーリズムとの融合によりアートがレジャーの一環として楽しまれている背景から、老若男女楽しめるアートプロジェクトで SDGs の啓蒙を行いたいと思います。

現役で活躍するアーティスト、イラストレーターの方に SDGs をテーマにしたオリジナル作品の制作を依頼します。また、SDGs の課題の一つである障害者の福祉と人権（障害者雇用）の視点から障害者アートによる作品も並列に展示し、アートで障害の垣根をなくします。

人口・経済が衰退へ向かう日本で子どもたちや障害のある方々も一緒に明るい未来へのビジョンをアートを通して提案します。

作品の制作費は SDGs に積極的な企業の協賛費用にご負担いただき、ご協賛いただいた企業様の施策と作品を連携し、展示会場で協賛企業の SDGs 事業もご紹介します。

展示初日のオープニングにはアートイベントを開催、音楽やライフスタイルから SDGs を感じるアートフェスを開催します。また、SDGs 関連の企業とコラボレーションしたオリジナルグッズの販売も行います。

事業計画

【内容】

- イベント開催予定 10 月頃
- SDGs に積極的な企業への協賛営業を行います。
- 作品展示の場所（横浜市内数カ所）を検討します
- オープニングイベント（仮：象の鼻公園）を開催します。
- 作家の選定、障害者アート（studioCOOCA 他）に提案をします。
- 展示施工業者の選定、調整を行います。
- 関連オリジナルグッズの企画制作を行います。

【体制】

- 逗子アートフェスや江の島の野外音楽フェスなど実績のあるチームで企画運営を行います。
- 原則イベント制作部と協賛営業部の 2 チームの統括を一般社団法人 i-ba が行います。

問合せ先

一般社団法人 地域デザイン学会

一般社団法人 i-ba

代表者氏名 柴田 雄一郎

〒251-0035 神奈川県藤沢市片瀬海岸 1-8-21-204

TEL : 080-6534-5977（担当：一般社団法人 i-ba 柴田 雄一郎）

E-mail : shiba@icrie.org